

2024年3月29日

各 位

会 社 名 株式会社カイオム・バイオサイエンス  
代表者名 代表取締役社長 小林 茂  
(コード：4583 東証グロース)  
問合せ先 取締役経営企画室長 美女平 在彦  
(TEL. 03-6383-3561)

**ADCT-701 治験実施主体のNCI への移行に伴う**  
**ADC Therapeutics とのライセンス契約の終了のお知らせ**

現在、米国で臨床第1相試験の開始を予定しているがん治療用抗体 ADCT-701 について、当社は ADCT 社と締結しておりました LIV-1205 のライセンス契約（2017年9月27日付『がん治療用抗体 LIV-1205 に関するライセンス契約締結のお知らせ』、および2020年11月10日付『ADC Therapeutics 社とのライセンス契約に関する変更契約締結のお知らせ』（以下、本契約））を、本日、終了させることといたしましたのでお知らせいたします。

当社は本契約の下、ADCT 社に PBD を用いた抗体薬物複合体である ADCT-701 に限定した全世界での独占的なサブライセンス権付の開発、製造および販売権を許諾しておりましたが、ADCT 社は2023年5月に既承認薬および開発後期パイプラインに投資を集中する事業戦略の変更を行い、ADCT-701 の共同研究開発契約（CARDA）パートナーであった米国国立がん研究所（以下、NCI）が自己資金を用いて臨床第1相試験を実施することとなりました。本抗体の治験実施主体が NCI に移行したことに伴い当社と ADCT 社は本契約を終了することに合意し、今後は当社が LIV-1205 に関する全権利を保有することになります。

また、昨年秋に ADCT-701 の治験申請（IND）を提出した NCI は小児の神経内分泌がんを対象に臨床第1相試験を実施する計画であり、治験薬の供給は ADCT 社から行われます。なお、当社と ADCT 社とのライセンス契約は引き継がれないため、NCI が行う ADCT-701 の本治験において良好な成績が得られた場合には、新たに臨床第2相試験以降の開発に興味を持つ製薬企業と当社が本抗体のライセンス契約を締結することとなります。

本件が2024年12月期業績へ与える影響はありません。

<ADCT-701>

ADCT-701 は、カイオムが開発した抗体 LIV-1205（抗 DLK-1 抗体）と抗腫瘍活性を有する薬物 PBD の抗体薬物複合体です。米国での Phase 1 開始に向けて NCI が IND 申請を完了しており、NCI は小児の神経内分泌がんを対象とした臨床試験（※）を今年度開始予定としております。

※：NCT06041516

<CRADA>

CRADA とは共同研究開発契約（Cooperative Research and Development Agreement）のことで、米国政府が政府系研究機関を通じて人、サービス、施設、設備、知的財産等を民間企業等に提供するために締結される契約です。

以 上